

労組基礎教育セミナー

新しくできた国、新しいナショナルセンターと新しくはじまった労働運動にとっては、「なぜ、労働組合が必要なのか」「どのようにして自由にして民主的かつ自主的な労働組合を組織するのか」「団体交渉の方法や労働協約の締結方法」などの労働組合の基礎について、組織内での共通認識を高めることが重要です。

セミナーでは、組織強化や組織固めを第一の目的として、①労組の役割と必要性②組合規約③ビジョン・ミッションと具体的な達成目標④組織体制⑤当面の課題⑥女性委員会や青年委員会の活動紹介——等、基礎教育中心の講義とグループ討議を中心に進められます。



組織化セミナー

新しい労働組合を作り、組合員を増やすことは、労働組合にとっても重要な活動のひとつです。

ベトナムでは法律により、すべての企業が労働組合を設立することが義務づけられています。しかし、現実には労働組合がない企業や、活動していない組合の実態があることから、企業の従業員や労働組合の組織化担当を対象に組織化セミナーを開催しています。2007年度のセミナーでは、ハノイ市郊外の工業団地にある日系企業の労働組合役員などを対象に、日本の労使関係や組織化、組織強化の経験を紹介しました。参加者が働く日系企業での労使関係向上を目的に、企業を訪問するとともに、経営者に対して労働組合結成や労働組合活動に対する理解と協力を要請しました。



女性セミナー

国によっては、男女という性の違いだけで、①希望の職種に就けない②賃金に差がつく③職場で差別を受ける④男女平等に関する法律がない——等の問題を抱えており、ジェンダー平等の概念は、労働組合が果たすべき重要な課題のひとつです。

パキスタンでは、宗教上の理由もありますが、慣習的に女性は外に出て働くべきではないという考えが根深く残っており、家事労働や子どもの世話をする女性が大半を占めています。セミナーでは、パキスタン労働者連盟(PWF)をカウンターパートとし、社会や職場、家庭レベルで女性の抱える問題や女性が持つ権利と労働組合の役割を学ぶ機会を提供し、参加者同士でジェンダー分析を行います。今後、どのようにして課題解決をしていくのか論議し、労働組合の組織強化にもつなげています。

